



大船渡水産振興センター「復興板」

平成30年6月22日発行 第65号

1 漁港関係施設の災害復旧工事 進捗状況

平成30年5月31日現在、管内の県営漁港関係施設にかかる災害復旧工事の進捗率は、74%となっています。(平成30年5月31日現在)

| | 災害査定 (H29再調査決定額) | | 発注 | | 進捗状況 | | 完成 |
|------|---------------------|--------------|-----|-------------|-------------|----------|-----|
| | 件数 | 本工事費 (千円) | 件数 | 発注額 (千円) | 出来高 (千円) | 率 (%) | 件数 |
| 漁 港 | 243 | 34,194,563 | 238 | 32,403,494 | 32,130,054 | 94 | 225 |
| 漁港海岸 | 11 | 35,568,708 | 11 | 25,324,848 | 19,513,948 | 55 | 3 |
| 漁 場 | 2 | 498,880 | 2 | 498,880 | 498,880 | 100 | 2 |
| 合 計 | 256 | 70,262,151 | 251 | 58,227,222 | 52,142,882 | 74 | 230 |

・ さっちゃんNEWS part 1



計量・袋詰め

<アワビ種苗初出荷>

大船渡市末崎町門之浜にある(一社)岩手県栽培漁業協会では、5月24日(木)に野田村漁協と船越湾漁協に計16万個の種苗を初出荷しました。

今回出荷した種苗は、昨年の4~5月に採苗し当協会職員が大切に育ててきました。出荷の際にも、濡らしたスポンジと一緒に手早くは箱詰めを行うなど、種苗が弱らないように気を使っています。

これから8月までの間に合計400万個ほどの種苗が県内の漁協に出荷されます。



箱詰め



★★★_スマイル130 (いちさんまる) プロジェクトについて_★★★

「130万人誰もが笑顔に」をスローガンに掲げ、「県民の笑顔のために」、「感謝の笑顔を(県外、世界に)届ける」を活動のコンセプトとし、復興に取り組む職員の高揚感を盛り上げ、復興に向けた県民と一体感のある取組を展開し、岩手のあるべき未来に追いつく復興を推進する取組みです。

2 水産施設等の復旧・魚市場の水揚げ状況

(1) 共同利用施設・養殖施設の復旧状況

漁協や各漁業者、水産加工業者などが共同で利用する施設の整備を支援しています。

| 事業年度 | 施設名 | 事業主体 |
|--------|----------|---------------------|
| 平成30年度 | 水産物荷捌き施設 | 大船渡市漁業協同組合（12月着工予定） |

(2) 大船渡魚市場の水揚げ状況（平成30年1月1日から5月末累計）

| 平成30年 | | 平成29年 | | 震災前 (H20～H22の平均) | | 前年比 (H30/H29) | | 震災前（H20～ H22の平均）との 対比 | |
|--------|-----------|-------|---------|---------------------|---------|------------------|-------|-----------------------------|-------|
| 数量(ト) | 金額(千円) | 数量(ト) | 金額(千円) | 数量(ト) | 金額(千円) | 数量(%) | 金額(%) | 数量(%) | 金額(%) |
| 12,316 | 1,415,319 | 5,585 | 787,721 | 10,529 | 852,262 | 221 | 180 | 117 | 166 |

出典：いわて大漁ナビ

平成30年1月から5月までの水揚量は、昨年比で2.2倍、震災前との対比で約1.2倍でした。主な魚種は、イサダ(5,885トン、629,072千円)、マイワシ(3,999トン、220,057千円)、サバ類(1,744トン、140,126千円)などでした。水揚量が増えた理由は、2～4月のイサダ漁が漁期を通じて好漁だったこと、マイワシが1～2月に定置網で、5月にまき網で好漁だったことなどが挙げられます。

・ さっちゃんNEWS part2

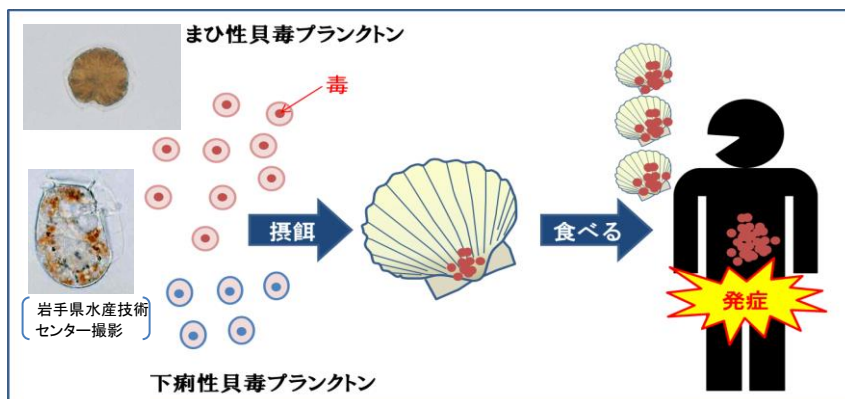
<ホタテガイの貝毒について>

貝毒は、毒を作るプランクトンが大量発生し、そのプランクトンをホタテガイなどが餌として体内に取り込み、蓄積されることが原因で起こります。また、貝毒には麻痺性貝毒と下痢性貝毒の2種類あり、摂取すると麻痺性貝毒はしびれ、呼吸困難など、下痢性貝毒は下痢、嘔吐などの症状が出ます。

県内では、今年の3月6日以降、麻痺性貝毒の毒値が国の規制値を超えたことから、6月19日現在まで釜石以南の広い海域でホタテガイなどの出荷自主規制が続いています。

広範囲かつ長期に麻痺性貝毒が発生しているはっきりとした原因は分かっておらず、現在研究機関等が現在究明に取り組んでいます。

なお、現在、流通しているホタテガイ等は安全性が確保されたものなので、安心して食べられます。



「さけの子さっちゃん」は、大船渡水産振興センターのPRキャラクターです



『復興板』に関するお問い合わせ先
沿岸広域振興局水産部
大船渡水産振興センター〔担当 宮田〕
岩手県大船渡市猪川町字前田6-1合同庁舎4階
TEL:0192-27-9915 FAX:0192-21-1229
E-mail:BG0004@pref.iwate.jp